

ドイツ NOW 2月号

国際交流委員 2年6組 杉浦暖人 2年7組 増谷知樹

2月といえばバレンタインですよね！！！！ドイツNOW2月号では、昨年度姉妹校交流事業で本校に来てくださった Demir Saribeyoglu さんのお話をもとに日本と比較しながらドイツのバレンタインについて紹介します。リアルなドイツのバレンタインを知って、興味をもっていただけると嬉しいです。

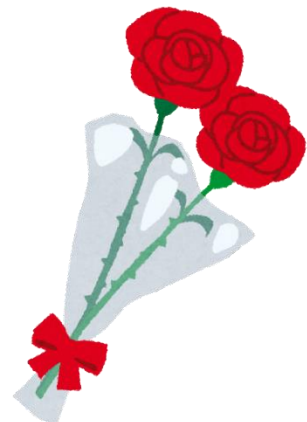
(1) ドイツのバレンタインの歴史

ドイツでバレンタインデーが広まったのは1980年代半ば以降でごく最近の風習です。もともとヨーロッパでは、19世紀のイギリスで現代のようなバレンタインの形式が始まり、アメリカへと広まりました。ドイツでは第二次世界大戦後、ドイツに駐屯していた米軍から知られることとなりました。ちなみに日本で一般的に普及し始めたのは1950年代のことです。意外にも、日本のほうがバレンタインの歴史が長いのです。



(2) ドイツのバレンタインの特徴

好きな人に思いを伝える日本のバレンタイン。ドイツも同じでしょうか。実はドイツでは、日本のように好きな人に告白する習慣はありません。そもそも「好きな人に告白する」というのは日本独自のものです。ドイツのバレンタインデーは恋人や夫婦などすでに成立済みのカップルがお互いの愛を伝えたり感謝したりする日なのです。また女性からアプローチする日本とは逆で、男性から女性へ花やプレゼントを贈ります。男性からだなんて、romanticで素敵ですよ！また、チョコを送る文化はなく、花が最も定番だそうです。



(3) チョコレート大国ドイツ

おいしいチョコレートの国は？と聞かれたら、どの国を思い浮かべますか？

フランス、ベルギー、スイスあたりが多く、おそらくドイツを思い浮かべる人はほんの少ししかいないのではないのでしょうか。

意外かもしれませんが、実はドイツは、年間1人当たり11kgものチョコレートを消費し、チョコレートの生産量、輸出量ともに世界トップレベルのチョコレート大国なのです。

ドイツで一番よく食べられるチョコレートは板チョコだそうです、それ以外にもさまざまなシーンでチョコレートが食べられています。



「デパートのチョコレート売り場」



ハート形のピザが2月に売られるらしいです

最後に

いかがだったでしょうか。ドイツのバレンタインは日本と大きく異なる点もあり、興味深かったですよね。特に、男性から女性に花を贈ることに驚きました。幸運のシンボルとされている豚をモチーフにした人形やスイーツを贈ることもあるらしいですよ。ほかにもまだまだ面白い情報があると思うのでぜひ調べてみてください。

このドイツNOW2月号でドイツに少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです！

また、今年度のドイツ NOW はこれで以上となります。来年度も国際交流委員会をよろしくお祈りします！